



富士電機

高専率向け

採用パンフレット

経営理念

基本理念

富士電機は、地球社会の良き企業市民として、地域、顧客、パートナーとの信頼関係を深め、誠実にその使命を果たします。

・豊かさへの貢献 ・創造への挑戦 ・自然との調和

[スローガン]

熱く、高く、そして優しく

経営方針

1. エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。
2. グローバルで事業を拡大し、成長する企業を目指します。
3. 多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮します。

富士電機企業行動基準

本基準は、富士電機とその社員一人ひとりが、「経営理念」を実践し、社会的責任を果たすために、国の内外において関係法令・国際ルールおよびその精神を理解し遵守しつつ、高い倫理観を持った行動ができるように、富士電機とその社員の判断の拠り所や行動のあり方を定めたものです。

- ① 人を大切にします
- ② お客様を大切にします
- ③ お取引先様を大切にします
- ④ 株主・投資家を大切にします
- ⑤ 地球環境を大切にします
- ⑥ 社会への参画を大切にします
- ⑦ グローバル・コンプライアンスを最優先します
 - ⑦-1 コンプライアンスの徹底
 - ⑦-2 リスクマネジメントの徹底
- ⑧ 経営トップは本基準の実践を徹底します

ブランドステートメント

Innovating Energy Technology

[ブランドプロミス]

電気、熱エネルギー技術の革新の追求により、エネルギーを最も効率的に利用できる製品を創り出し、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。

About Business — 富士電機の事業分野

富士電機は、エネルギー・環境技術をコアに、「エネルギー」「インダストリー」「半導体」「食品流通」の4つの事業を通して、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献しています。

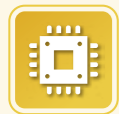


食品流通

コア技術である冷熱技術に、メカトロニクス技術やIoTを組み合わせ、食品流通分野における最適な商材とソリューションを提供することにより、食の安全・安心に貢献します。



缶・PET自動販売機 冷凍自動販売機 冷凍・冷蔵ショーケース 自動釣銭機



半導体

産業分野・自動車分野において、パワーエレクトロニクスのキーデバイスであるパワー半導体を提供し、高効率化や省エネ化に貢献します。



パワーMOSFET



第7世代IGBTモジュール All-SiCモジュール 車載IGBT



インダストリー

パワーエレクトロニクス応用製品に計測機器、IoTを組み合わせ、工場の自動化や見える化により、生産性の向上と省エネを実現します。

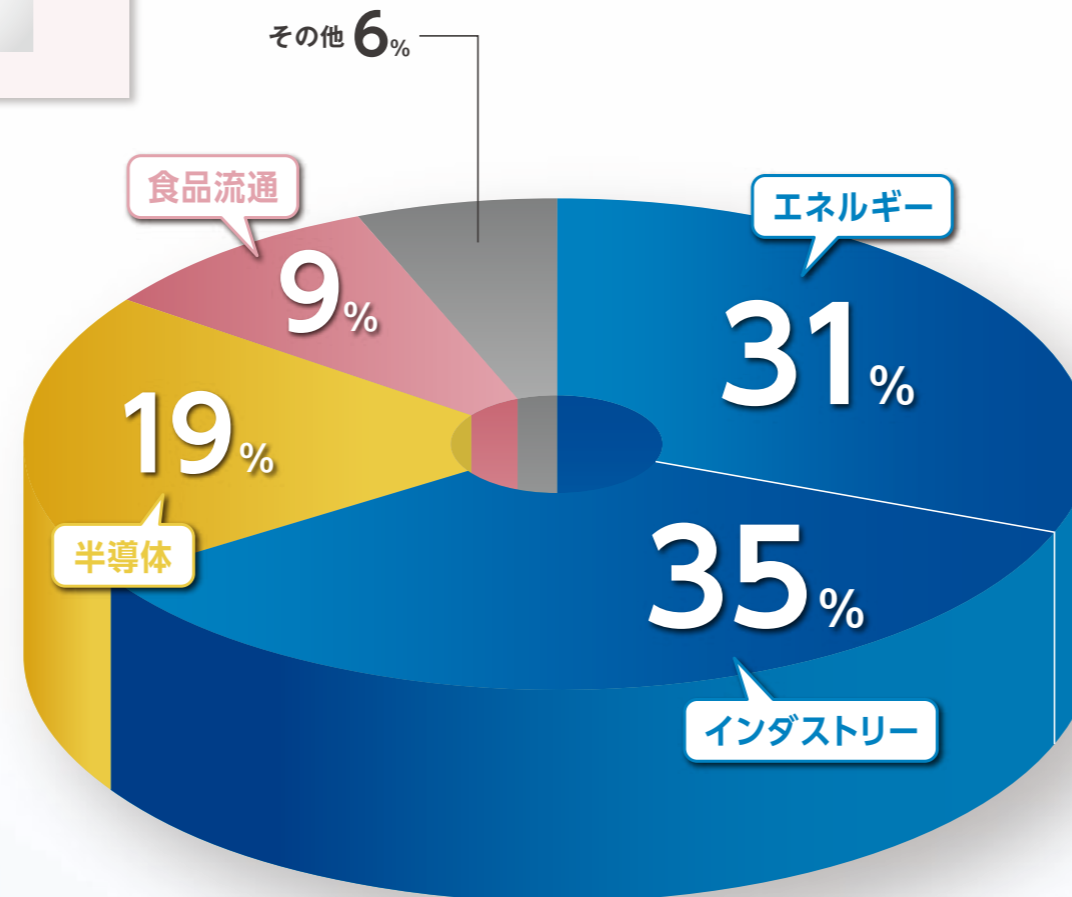


汎用インバータ 産業用ドライブシステム ガス分析機器 高速鉄道車両駆動システム

売上高

10,094億円

(2022年度)



エネルギー

確かな技術で電力インフラを支え、エネルギーの安定供給、最適化、安定化に貢献します。



地熱発電設備



風力発電システム



エネルギー管理システム(EMS)



変電設備



無停電電源装置(UPS)



変圧器

受配電・制御機器(器具)事業

電気を制御し、事故から守り、効率よく使う、人とエネルギーをつなぐ受配電・制御機器を通じ、産業を支え、生活を支え、エネルギー・マネジメントの進化に貢献します。



盤内高圧機器



電磁開閉器



エネルギー管理機器



低圧受配電機器

About Network and product

拠点と製品について

富士電機は、国内のあらゆる場所に工場、サービス拠点、支社・支店があります。
 配属先は取り組む事業や職種により決定されます。

フィールド・サービスエンジニア職は、本社、東京工場、神戸工場、川崎工場のほか、全国のサービス拠点及び支社・支店で活躍しています。

- 工場
- サービス拠点
- 支社・支店



■自動販売機 ■ショーケース

三重工場

自動販売機 (缶・ペットボトル・カップ、食品・物品)、
 冷凍・冷蔵ショーケース、
 コンビニエンスストア向けコーヒーマシーン など

食品流通 社内 SE



■汎用インバータ ■モータ

鈴鹿工場

インバータ、サーボシステム、モータ、
 鉄道車両用電機 など

インダストリー 社内 SE

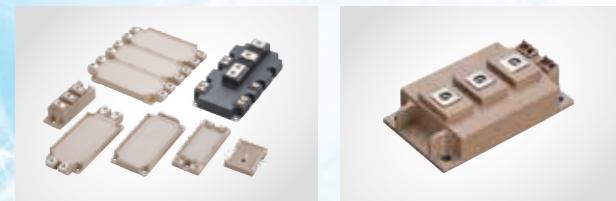


■配電盤 ■無停電電源装置 (UPS)

神戸工場

配電盤、無停電電源装置 (UPS)、
 パワーコンディショナー (PCS)

エネルギー 社内 SE



■第7世代 IGBT モジュール ■All-SiC モジュール

松本工場

IGBT モジュール、パワー MOSFET、
 パワー IC、デバイス技術、
 SiC モジュール など

半導体 社内 SE



■車載 IGBT

山梨工場

車載用 IGBT モジュール
 半導体

大田原工場

配線用遮断器、漏電遮断器
 受配電・制御機器



■配線用遮断器 ■オートブレイカ

筑波工場

配電盤、無停電電源装置 (UPS)
 エネルギー



■配電盤 ■無停電電源装置 (UPS)

吹上工場

電磁開閉器、電磁接触器、高圧真空遮断器、
 制御リレー・タイマ、エネルギー監視ユニット など
 受配電・制御機器 社内 SE



■電磁開閉器 ■操作スイッチ・表示灯

千葉工場

変電設備 (変圧器/開閉装置)、
 大容量整流設備、産業用大型電源、
 船舶用排ガス浄化システム
 エネルギー 社内 SE



■大容量変圧整流装置 ■船舶スクラバ

川崎工場

再生可能・新エネルギー (地熱発電設備、
 水力発電設備、太陽光発電システム、風力発電設備、
 燃料電池)、火力・地熱サービス、原子力関連設備
 エネルギー インダストリー
 社内 SE



■地熱発電設備 ■燃料電池

東京工場

エネルギー管理システム、
 電力系統監視システム、データセンター、
 駆動制御システム、各種計測機器・センサ、
 放射線管理システム など
 エネルギー インダストリー
 情報制御システム 社内 SE



■エネルギー管理システム (FEMS) ■ガス分析機器



About Work flow and Job category

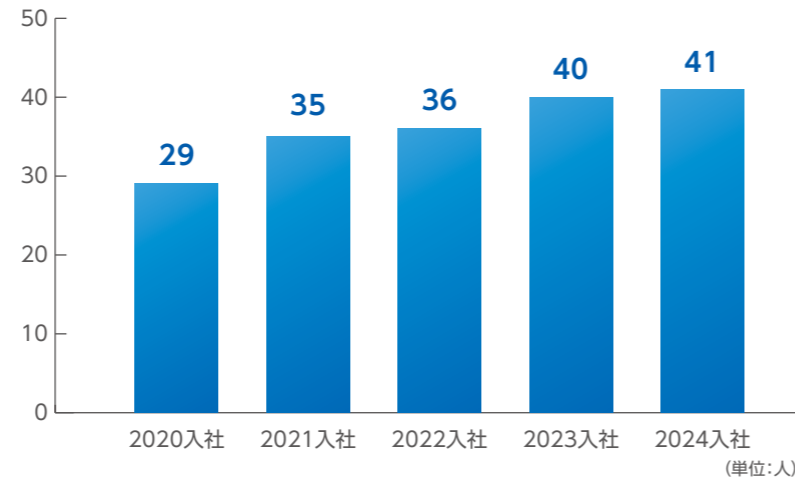
業務フローと職種について

富士電機では700名以上の高専出身者が在籍中で、幅広いフィールドで活躍しています。

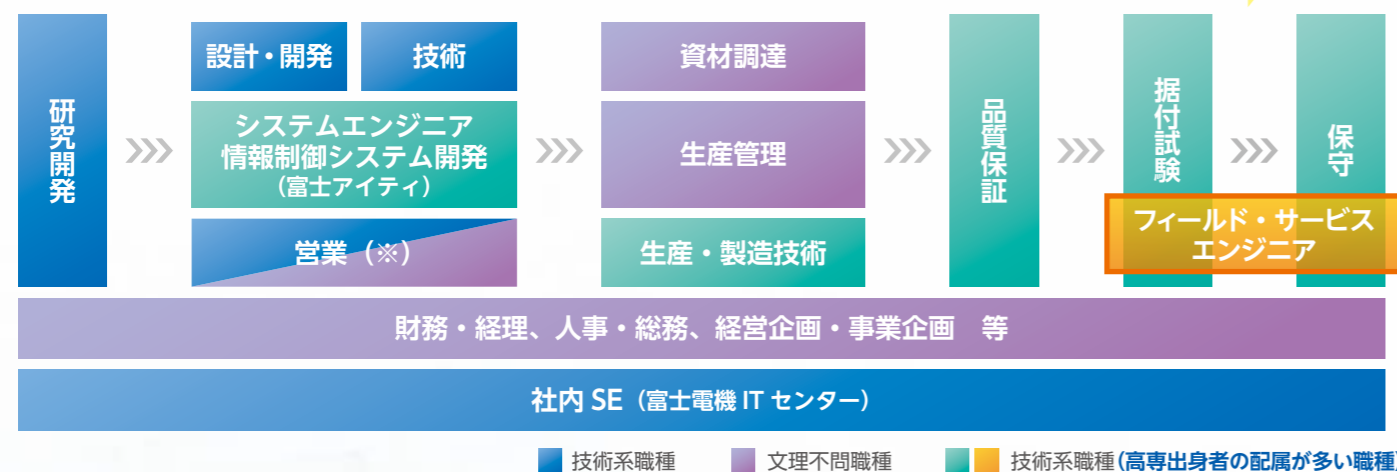
若い頃から責任ある仕事を任されることが多く、意欲のある人にどんどんチャンスが与えられる社風です。

高専卒採用数推移

毎年、高専生を積極採用
毎年多くの高専出身者が入社
社内では、700名以上の高専出身者が活躍中！



全体業務フロー 仕事の流れと主な職種



設計・開発

お客様との取り決め、あるいは新製品の開発計画から作成された仕様書に基づき、製品を製造するために必要な設計、試作などの業務を担当します。仕様書に記載されたお客様の要望を汲み取り、いかに良い製品、お客様に満足してもらえる製品に仕上げていくか、より高い次元の製品に仕上げするための重要な役割を担っています。

生産・製造技術

製品を高い品質(Q)、安いコスト(C)、そして短納期(D)で生産するための生産方式を計画し、設備を導入して生産体制を構築するまでの業務を担います。生産工程を構築するために必要な材料技術・工法技術・設備技術などの技術開発、製造の自動化・省力化・合理化などの計画や生産設備の計画・準備などを推進します。

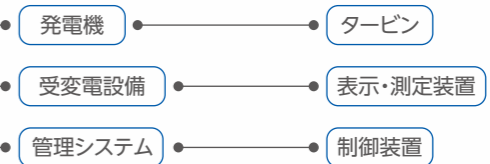
品質保証

品質保証は、メーカーにとって、お客様からの信頼を得る重要なファクターです。製品の材質・性能の分析を行い、製品が仕様書で示されている要件を満たし、お客様に満足してもらえる製品に仕上がっているかを確認し保証する仕事です。また、単に製品品質を保証するだけでなく、ISO9001など組織全体としての品質保証の仕組みの整備も行っています。

フィールド・サービスエンジニア

お客様に納める製品やシステムの据付、調整試験・試運転、改造・点検を行い、お客様のニーズに合わせた製品・システムの性能を最大限に引き出す業務を行います。また、納品後も保守・保全、改良、点検から更新に至るまで、お客様の相談に乗り、設備や業務改善の支援を行う一方で、予防保全の立場から設備に潜在する課題の改善提案を行い、安定稼働と効率向上に貢献する業務を行います。電気、電子、機械、情報を始めさまざまな技術が必要とされており、さまざまな技術者が協業してひとつの製品が成り立っています。

フィールド・サービスエンジニアの仕事は、「発電所」や「製鉄所」のように多数の製品(電動機・計測器・計算機など)を組み合わせて作られた設備(=プラント)の据付、調整試験・試運転や改造・点検が主な仕事。プラントは国内に限らず海外にも納めているので、グローバルな活躍が期待できます。設備の保守・保全、改良、点検から更新に至るまでお客様の相談に乗り、設備改善の提案を行い、対象設備の安定稼働と効率向上に寄与します。担当するお客様に納めている新製品から古い機種まですべての設備を知り尽くすことが要求されます。



情報制御システム開発部門 (富士アイティ株式会社)

情報制御システムと機器コンポーネントをIT技術でミックスしたトータルソリューションを提供しています。豊富な経験と実績を基に、ネットワーク技術とインテグレーション技術を融合し、お客様の課題解決に貢献します。

富士アイティ株式会社の役割は、富士電機のプラントシステムの情報システムを開発することです。機械や装置を動かす電気品のハードウェア設計から、現場の機器・センサを制御する機器(PLC)を利用した制御システム、コンピューターのソフト開発まで幅広い技術分野で事業展開を行っています。その核となる技術が「情報技術」「制御技術」「エンベデッド(組み込み)技術」。ハードウェア構築から、ソフトウェア開発、インテリジェンス化、保守・運用まで、お客様の課題解決に貢献することはもとより、現場情報の新たな価値を創出し、提供しています。お客様の業種はエネルギー・製造・流通・物流・農業分野、生活を支える公共・社会・医療分野に至るまで様々。社会の幅広い領域へ事業展開しています。また、現場のデータ収集を担うIoTコントローラ的设计・開発機能を有し、自社内でソリューションを進化させていく機能も備えています。

社内SE部門 (富士電機ITセンター株式会社)

富士電機のITプロ集団として富士電機全体で使うシステム、国内外の工場をつなぐネットワークシステムやセキュリティ対策など戦略的なIT活用を提案・実行しています。

基幹システムは、製品の受注から納品までを一括管理し、財務会計システムと連携させ、蓄積されたビッグデータを活用することで、富士電機グループの経営戦略など様々な場面で利用する仕組みを提供しています。生産管理システムは、効率的に工場を運営してものづくり全体を管理しています。生産現場でのIoT活用により生産情報を見える化し、業務改善や生産性の向上に取り組んでいます。情報インフラは国内外の全社員が利用するメールやスケジュール、WEB会議ができるコミュニケーションクラウド基盤や、ネットワーク、セキュリティ対策によりシステムを安定稼働させるために重要な役割を担っています。また、ITユーザーサポートは、パソコンやスマートデバイスなど最新機器や新IT技術を検証するとともに社員のヘルプデスクを設営しています。



仕事を任される喜び
全力で期待に応える

設計職

仁平 翔太 Shota Nihei

エネルギー事業本部
筑波工場 小型電源部
2021年入社 産業システムデザイン工学専攻卒業

希望の設計職で小容量UPSを担当

業務の中心は、主にオフィスなどで使用される小容量のUPS（無停電電源装置）の設計および関連タスクです。既存製品の安定性向上のために行うものをはじめ、コストダウンや廃番部品を置き換える目的で行う性能検証、また標準品を特定顧客向けにカスタマイズしたり、OEM製品の開発試験も行うなど、仕事は多岐にわたります。パワエは高専の専攻科時代に研究室で学んでいた分野でもあり、自分の強みを活かせる環境だと思います。プロジェクトのスムーズな進行のためには、調達や生産技術、品質保証といった、他部署との密接な連携が欠かせません。工程のスタートからゴールまでの全体像を事前に把握し、スケジュール立案や情報共有を行うよう心がけています。

自ら中心となってプロジェクトも推進

配属後すぐ任されたプリント基板の腐食対応の仕事は、1年以上経過した今でも不具合は発生しておらず、自分の手がけた仕事が目に見える成果となったことで大きな自信につながりました。その後に担当したプリント基板内製化のプロジェクトは自ら中心となって推進し、設計のほかに試験の実施や外部機関の認証取得も行なうなど、量産開始に至るまでの貴重な経験を積むことができました。若手でも責任ある仕事を任せられるので、今後も多くの知識や経験を身につけて部内外から頼られる存在を目指したいと考えています。



最終調整を担う、大きな責任
プラント制御の

フィールド・サービスエンジニア職

山田 翔太郎 Shotaro Yamada

インダストリー事業本部
フィールドサービス統括部 フィールドエンジニアリングセンター
制御試験第一部 計測システム課
2016年入社 電気工学科卒業

計測制御システムの挙動を最終確認・調整

製鉄所をはじめ、さまざまな工場などで使用されるプラント向けの計測制御システムについて、出荷前や納品後に現地で行う最終試験・調整の責任者として、実務はもちろん各種の取りまとめを行っています。計測制御システムとは、例えば製鉄所の場合は生産中の鉄や炉の温度などを常に監視し、そのデータをもとに設備の運転を自動で制御・調節するためのものです。高品質の製品を安定生産するために必要不可欠なシステムであり、発電所などの分野にも導入されています。開発を担当する部署はもちろん、お客様とも密にコミュニケーションを取りながら、十分に満足してもらえるサービスの提供を心掛けています。

大規模プラントを支えるスケールの大きさ

出荷前の社内試験は模擬信号の送受信で行うため、納品現場で最終試験を行うときは実際に制御する設備の運用状況に応じて、ソフトの挙動を再調整することも珍しくありません。関わるプラントには大規模なものや海外の案件も多く、作業が長期にわたることもあります。自分が調整した生産ラインが意図したとおりに制御されるのを目の当たりにする瞬間には大きな感動を覚えます。システムだけでなく、制御される機械や設備も富士電機の製品とセットになることも多いので、生産ラインやインフラをトータルで支える企業の一員なんだという実感にもつながっています。

アフターサービスに生きる、発電機製造の知見

人々の生活を支えるインフラ事業に興味があり、富士電機に入社しました。入社後は発電機を製造する部署に配属され、製品の製造過程から現地据え付けまでを経験しました。先輩方の職人技に圧倒されましたが、高専で学んだ実技や知識も活かすことができました。そうした“ものづくり”の現場を経て今の部署に異動。業務内容は富士電機が海外へ納入した発電設備の補修や更新工事の拡販施策立案をはじめ、それらの受注活動や部品供給、点検工事の技術指導員派遣、クライアントの技術問い合わせ対応など多岐にわたります。現在の担当は中国・台湾エリアです。

ピンチをチャンスに！ 大型案件を受注

あるプラントで蒸気タービンのトラブルが発生したとき、時節柄思うように技術者を手配できなかったことがあります。それでも急いで原因や対策などの調査レポートをまとめ、顧客へ送りました。厳しい状況下で限られた内容でしたが、最大限のスピード感で対応したことを評価いただき、億単位のタービンローターの受注につながりました。海外の顧客とは英語でやりとりをします。入社後は難しかったですが、会社の研修を含めて必死で勉強し、今ではコミュニケーションできるようになりました。今後は現地に行くことも増えると思いますが、発電に関する提案業務もできるプラントマンとして、スキルを向上させたいと思っています。



稼働中の発電プラントを
グローバルに支える

プラント技術/アフターサービス職

久賀田 貴広 Takahiro Kugata

エネルギー事業本部 発電プラント事業部
火力・地熱プラントサービス部
2016年入社 機械工学科卒業

遠方監視装置の最終試験を担当

私が担当しているのは「テレコン」という製品の最終試験です。テレコンは離れた場所から機械の動作や状態を制御/監視するための装置で、現在はその中でも変電所*の状態を監視し、集中管理するシステムへ情報を送る制御盤の試験に携わっています。試験では送受信する信号の強さや正常に通信できるかに加え、装置が落雷に耐えられるかなども確認します。最終試験は工場出荷前と、納品後に現場で行うものがセットになりますが、現場の場合はまれに製品に不具合が出ていることもあり、軽いものであれば修理もします。お客様が立ち会うためプレッシャーも大きいですが、優しい先輩方にも支えられて業務をこなしています。

*変電所: 発電所で作られた電気を使える電圧にするため、各地に置かれている設備のこと

テレコンを知り、システムの重要さを知る

地味なことが多い試験作業の中で、久米島の空港へ滑走路の灯火監視制御装置を納入したときのことはよく覚えています。空港終業後の夜の暗がりや背景に、私の操作で滑走路の照明がオンオフされる様子がとてもきれいで感動しました。テレコンはシステムの末端に近いところにある装置ですが、つながれた機器から上がってくる信号を通じてシステムの全体像や役割の大事さ、そして自分の仕事が世の中の役に立っているんだという実感があります。



テレコンの試験で、電力システムの
安定化に貢献！

フィールド・サービスエンジニア職

服部 五月 Satsuki Hattori

インダストリー事業本部
フィールドサービス統括部 フィールドエンジニアリングセンター
制御試験第二部 情報システム第二課
2019年入社 電子工学科卒業

情報制御システム開発部門 (富士アイティ株式会社)

さまざまな施設の電力監視システムをカスタマイズ

主な仕事は電力監視システムの、ソフトウェアのカスタマイズ設計です。操作画面の変更や、PLC*の動作プログラムの作成/チェックなどを担当しています。現地での導入試験や納品も担当しているため、1年のうち3割程度は全国各地へ出張しています。お客様は公共関連やショッピングセンターなどさまざまです。担当営業やお客様との打合わせ、工程管理など含めると、日々の業務は多岐にわたります。ここで重要なのが「報告・連絡・相談」。関係者間の情報共有を欠かさず、一方でわからないことは一度自分で考えてから先輩に質問するなど、無駄な時間や余計な手戻りを発生させないよう工夫しています。

※PLC: Programmable Logic Controller。システムとつなぐ機器を仲介し、制御を司る機器のこと

任されるプロジェクトも広がり、完遂まで全力

初めて主担当となった案件は小規模でしたが、不具合もなく稼働できました。お客様からも「ありがとう」と感謝の声をいただき、大きな達成感を味わうことができました。今では中規模のプロジェクトも任されており、全体の進捗を意識しながら仕事の配分を考えるなど、業務への理解も深まっています。プログラムや電気の専門知識を継続的に学ぶことは欠かせませんが、それが仕事に直接役立つのを実感できるのも、社会人ならではの喜びです。福利厚生も充実しており、結婚や出産を経た女性の先輩方もいきいきと活躍されているのも魅力の一つです。



自分で成果を確認できる
達成感が魅力の仕事

システムエンジニア職
小川 奈美 Nami Ogawa
情報制御システム本部 産業ソリューション事業部
環境ソリューション部 施設制御システム課
2019年入社 機械工学科卒業

社内 SE 部門 (富士電機 ITセンター株式会社)

富士電機の各拠点に固有のシステムを構築

富士電機ITセンターでは、富士電機グループで使うさまざまな情報システムを構築しています。いわば“富士電機のITプロ集団”ですが、拠点や工場ごとに異なる製品やサービスに応じた“オーダーメイド”のシステムを構築することが要求されます。私は生産システム部千葉システム課に所属し、千葉工場の社内SEとして、業務効率化と生産性向上に向け、現場のIoT化推進による生産情報の“見える化”に取り組んでいます。設計・開発から管理・運用保守とすべてのフェーズに関わっており、固有のシステムを手掛ける難しさはありますが、日々チャレンジ精神で奮闘しています。

ユーザー目線で仕事を進め、日々の成長を実感

入社して間もなく、先に書いたIoT推進業務のすべてを任せられました。まだまだ経験も少ない段階で不安はありましたが、先輩方にも気軽に相談に乗ってもらえ、無事にリリースできたことが大きな自信につながりました。また、その経験から、システムを通じて“何を、どのように実現したいのか?”について、ユーザーとコミュニケーションを取りながら進めていくことの大切さを学びました。実践は大変ですが、日々成長しているという手ごたえも感じています。プライベートでも社員寮のお互いの部屋を行き来して、仕事や趣味の話で盛り上がり、充実した毎日を送っています。

ユーザー固有のシステムづくりに挑む！

システムエンジニア職

篠崎 蓮 Ren Shinozaki

生産システム部 千葉システム課
2020年入社 電子情報工学科卒業

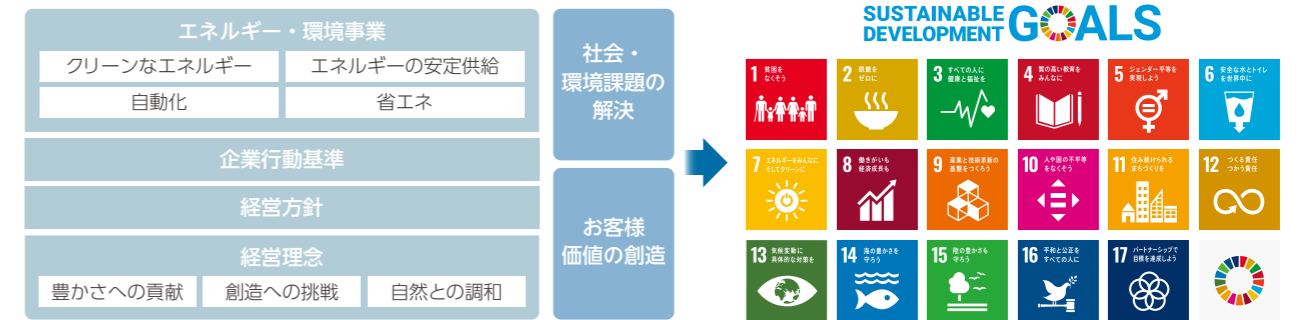
CSR — 富士電機の社会的責任

富士電機は、社会と環境の課題解決に取り組み、すべてのステークホルダーへ価値を提供し続けます。

富士電機とSDGs

基本的な考え方

2015年、国際社会の共通目標として「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」など17に及ぶ「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals 通称SDGs)を国連で決議しました。この考え方は、当社の経営理念である「豊かさへの貢献」「創造への挑戦」「自然との調和」と同じ方向性であり、この取り組みを推進していくことでSDGsの達成に貢献していきます。



SDGsの重点目標

SDGsの目標のうち、当社が事業活動において特に貢献すべき目標として、五つの重点目標を設定しました。加えて、経営基盤強化の取組とSDGsの関連性から、企業活動全体として取り組むSDGs目標として九つのSDGs目標を設定しています。パートナー・お客様とともに社会・環境問題の解決、お客様価値の創造に応えることを通じて、この目標達成に貢献していきます。

富士電機の企業活動全体で取り組むSDGs目標



SDGs 5つの重点目標への貢献例

- 7 持続可能なエネルギー
■ 再生可能エネルギーの拡大
■ エネルギー効率の改善
- 9 産業と資源効率の向上
■ 産業プロセスにおけるCO₂排出量削減
■ 社会・産業インフラの強靱化
- 11 持続可能な都市とコミュニティ
■ 都市と居住地におけるエネルギーなどの基本的サービスの提供
■ 持続可能な輸送システム
- 12 つくばない、つかう賢く
■ 製品を通じた社会のCO₂排出量削減
■ 生産時の温室効果ガス排出量削減
- 13 気候変動に具体的な対策を
■ CO₂排出量削減に貢献する製品提供による気候変動対策への貢献

環境ビジョン2050

気候変動対策の枠組みである「パリ協定」が2016年に発効するなど、持続可能な環境を目指す動きが活性化している中、当社も地球環境保護活動に貢献するため「環境ビジョン2050」を制定。当社の革新的グリーンエネルギー技術・省エネ製品の普及拡大を通じ「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現を目指します。

富士電機「環境ビジョン2050」

- 低炭素社会の実現**
サプライチェーン全体でカーボンニュートラルを目指します
- 循環型社会の実現**
環境負荷ゼロを目指すグリーンサプライチェーンの構築と3R*を推進します
- 自然共生社会の実現**
企業活動により生物多様性に貢献し生態系への影響ゼロを目指します

2030年度目標

- 産業革命前と比較した気温上昇を1.5℃に抑えるため、以下の目標達成を目指します。
- サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量：(Scope1+2+3)46%超削減(2019年度比)
 - 生産時の温室効果ガス排出量：(Scope1+2)46%超削減(2019年度比)
※2013年度比削減率54%
 - 製品による社会のCO₂削減貢献量5,900万トン超/年

※3R: Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)

Career & Living Support

働き方改革の推進／人事制度／福利厚生／人材育成

持続的成長に向けた「経営基盤の強化」として、人材の更なる活性化と育成強化を推進しています。

働き方改革の推進

柔軟な勤務場所・時間を認める制度

移動時間を減らし、効率的かつ個人の能力を最大限発揮しやすい就業環境を整えることで、多様なワークライフスタイルを実現し、ライフサイクルに合わせた仕事と家庭両立のワークチャンスの拡大に寄与しています。

【導入施策】

- ・ Location Flexible 勤務制度 (サテライト勤務・在宅勤務)
※自宅での勤務や、在籍する事業所以外の事業所での勤務を可能とする制度
- ・ フレックスタイム制度
- ・ スライド勤務制度
※1日の所定就業時間を変わらずに、始業時間をあらかじめ登録した時刻に変更できる制度

総労働時間の縮減に向けた取り組み

総労働時間の縮減に向けた全社共通方針を定め、それに基づき各事業所に於いて職場単位のフォローや意識変革活動を実施しています。

【意識改革に向けた取り組み】

定時退社日(ノーマルデー)の設定 残業パトロールの実施

休暇取得の推進

心身の健康増進に加え、「働くときは働き、休むときはしっかり休む」というメリハリのある働き方の浸透とチームによる業務推進を狙いとして、以下の取り組みを行っています。

【実際の取り組み事例】

- ・ 全社員を対象とした「5連続休暇」の取得促進
- ・ 休暇の計画取得制度の運営
(当年度付与の有給休暇日数のうち、50%を事前計画)

就業時間の短縮制度

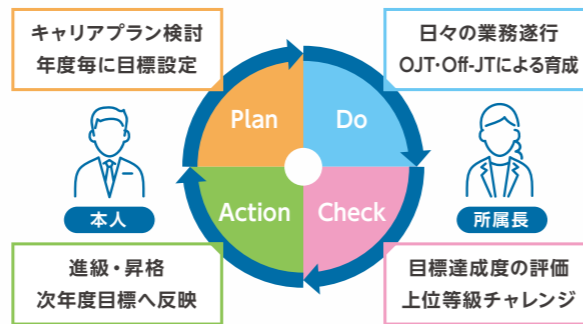
育児の場合は、子供が小学6年生修了まで、1日当たりの実働時間を最低6時間まで短縮可能です。

介護の場合は、最長36か月を限度として、1日当たりの平均実働時間を6時間まで短縮することが可能です。

人事制度

評価制度

「社員が生み出す価値や成果」をストレートに処遇に反映できる制度を導入しています。ただし、成果といっても賃金の全てが成果によってきまるわけではありません。成果に至るまでにどのように行動を起こし、目標を達成したか、その過程についても評価の対象となります。(行動特性評価制度)なお、各評価制度の運営のベースとなる目標や成果については、都度上司と部下が面談を通じて確認することとしています。



福利厚生

寮、社宅制度

寮、社宅(家賃補助も選択可能)は各拠点ごとに完備されています。



財産形成制度

積み立てた貯蓄を退職後年金として受給することができる積立年金制度、住宅財形制度や一般財形制度、従業員持株会(会社補助あり)などの各種財産形成制度を用意しています。

厚生施設・保養所

健康保険組合保養所、健康増進センター、厚生年金保養所など、社員の健康増進、余暇活用に役立てています。

自己啓発・リフレッシュ支援制度

社員の能力開発に積極的に取り組んでいます。業務に必要な教育はもちろん、業務に直接関係の少ない自己啓発や余暇活動への支援(費用を負担)についても行っています。

人材育成

富士電機は、行動規範「企業行動基準」の中で、「人を大切にします」と宣言し、従業員の能力開発を経営にとっての最重要テーマの一つに据え、社員一人ひとりの成長とチームの総合力の発揮を実現する人材育成の強化を表明しています。グローバル競争力強化につながる「プロフェッショナルな人材の育成」をめざし、積極的に従業員の教育・研修を実施しています。

教育・研修制度

各職場でのOJT(On-the-Job Training:業務経験を通じた能力開発)や事業部門、事業拠点ごとの独自教育に加え、全社横断的に、または専門分野別に各階層に応じて、幅広い教育・研修を実施しています。競争力の源泉となる個々人の成長と、組織としての総合力の向上を目指しています。

	選抜研修	階層別研修		グローバル研修	オープン講座	コア講座	ものづくり階層別研修	
		勤務別	職能別				職位別	生産技術系階層別
幹部社員	APE研修			Fuji Global 1 英会話				
	PE研修		新任幹部社員研修(昇格時)		部長研修(初任時)			
一般社員(内定者)	BCL研修		企画職1級研修(進級時)	Fuji Global 1 英会話	ビジネススキル系講座 技術系講座 フィールドサービス技術講座 安全衛生管理講座 コア技術講座	ものづくり技術講座	生産技術リーダー研修	監督者研修
		入社2年目研修					入社3年目生産技術者研修	ものづくりマスター教育
		入社1年目研修					入社2年目ものづくり基礎教育	
		入社時研修(内定者研修)					入社1年目生産技術者研修	新人技能者研修

階層別研修

「強いチームづくり」に向け、昇格・任命といった節目において、マネジメント力やヒューマンスキル、論理的思考力等の向上を狙いとした階層別研修に取り組んでいます。2022年度は1,411名が受講しました。

専門別研修

能力向上、個別専門の知識、スキルの習得等をねらいとし、特に技術系講座は分野別・レベル別にきめ細かく分類・体系化して実施しています。2022年度は、5,530名が受講しました。

選抜研修

部門や事業のリーダーの早期の発掘と、将来の経営層の候補者人材の継続的・全社的な育成をねらいとし、他社との交流の外部研修も取り入れた研修を実施しています。2022年度は65名が受講しました。

グローバル人材育成

世界中のお客様に最大の満足を提供するために、日本以外の国や地域で採用された社員も日本国内の社員も、国や地域を超えて一つのチームとして連携して事業を推進することが重要と考え、それを担えるグローバル人材の育成に取り組んでいます。

	国内社員の育成プログラム		海外社員の育成プログラム
管理者層	海外赴任前研修 国内社員に対する知識・文化・心構え	Fuji Global 1 語学スキル強化プログラム	Global Business Leader Program (海外拠点責任者教育プログラム)
一般社員			Fuji Global Leadership Program (海外拠点のゼネラルマネージャー対象の研修)
			Global Specialist Program (GSP) (中堅社員の海外スキル習得プログラム) (技術者の海外留学・共同研究プログラム)
			海外採用人材技術習得プログラム (海外採用人材の日本でのスキル習得プログラム)

国内社員の育成: Global Specialist Program (GSP) (受講者10名規模)

将来のグローバルビジネスリーダーの母集団を拡大し、グローバルな事業伸長を加速するため、一定の国内実務経験がある中堅社員を1~3年間派遣するプログラムを実施しています。本プログラムでは、2017年度の制度導入以降、約50名を派遣しています。

海外採用社員の育成: National Specialist Program (NSP) (受講者10名規模)

将来の現地拠点の中核人材の育成に向け、現地採用の若手社員を中心に日本の事業部や工場で研修を行い、当社の製品知識や技術の習得に取り組んでいます。本プログラムでは、2017年度の制度導入以降、約70名を受け入れています。

語学スキル強化プログラム: Fuji Global 1 (受講者300名)

事業のグローバル化を進めていく中で、海外派遣者および日本で海外窓口を担うキーパーソンの語学スキル強化はきわめて重要です。2017年度からは全社一体運営プログラムとして実施し、延べ2,600名の社員が受講しました。Fuji Global 1は、2つのメッセージ「グローバルな1つの強いチームを目指そう!」、「グローバルで、No.1を目指そう!」を合言葉に、将来を担う中核人材に対し、グローバルに通用する語学スキル習得の機会を提供し、グローバル要員としての戦力化を推進しています。

フィールド・サービスエンジニアの人材育成制度について

プロフェッショナルの早期育成を目的に、座学から実技まで体系的に整理された専門技術プログラムを行っています。

フィールド・サービスエンジニアに必要な3本の柱



フィールド・サービスエンジニアのステップ

監理技術者・安全衛生責任者	プラントシステムの総合的な現地取りまとめができる。(工事から試験運転までの取りまとめ)	エキスパート (お客様対応)
統括作業責任者	複数設備を組み合わせたプラントシステムの現地取りまとめができる。	
作業(試験・保守)責任者	単独設備及び単独システムの現地取りまとめができる。	
作業(試験・保守)担当	作業責任者の指示に従い、与えられた範囲の作業を遂行できる。	
新人	作業責任者の指示に従い、作業担当者の補助的な作業を遂行できる。また、電気に関する基礎教育を受講した者。	若年層教育

研修カテゴリ

安全衛生教育※	テクニカル教育	マインド教育
<ul style="list-style-type: none"> ■ 統括安全衛生責任者教育※ ■ 職長安全衛生責任者教育※ ■ 電気工事作業指揮者安全教育※ ■ ダイオキシン類ばく露防止特別教育※ ■ 第二種酸素欠乏症など防止特別教育※ ■ 電気取扱特別教育※ ■ 重要基本作業※ など 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気施工管理技術者教育※ ■ 現場代理人教育※ ■ 専門分野別教育(7分野・5階層) ■ 共通技術教育(5分野) ■ 保守・点検技術教育 ■ 新人集合(若年層育成)教育 ■ 出張シミュレーション教育 など 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスコミュニケーション教育 ■ コーチング研修 ■ 顧客満足向上(ファン客創造実践)研修 ■ ビジネスリーダー研修 ■ 経験年数別階層研修 など

※ 法的資格認定教育 □ 研修所設備を使用した教育

東京工場 フィールド技術研修所

フィールド・サービスエンジニア職の教育のための専門研修施設があります。この施設では、顧客プラントを模した教育用の機器を備えており、技術者の技術力向上・事故完結型業務の推進強化・現地安全・品質向上を目的とした実習を行っています。



富士電機は、一人ひとりの多様性を受け入れ、社員の力を最大限発揮できる仕組みや風土・環境づくりに力を入れています。

ダイバーシティ推進の考え方

富士電機は、経営方針に「多様な人材の意欲を尊重し、チームで総合力を発揮する」掲げ、ダイバーシティ(多様性)の推進に取り組んでいます。国籍、性別のみならず、価値観・考え方などの異なる従業員が、個性を発揮しいきいき働くことにより、新たな価値を生み出し、企業の競争力強化につながると考えています。性別や国籍などにとられない新卒採用を行う一方、キャリアを重視した即戦力採用、また、女性や海外で採用した従業員の積極的な登用も進めています。

ダイバーシティの推進体制

富士電機は、2006年に社長直轄組織「女性活躍推進室」を発足以来、女性活躍推進を進めてきました。2016年からは、取組み強化を目的に、ダイバーシティ推進の専任組織の配下に、各本部責任者および各事業所担当からなるダイバーシティ推進委員会を置き、相互に連携しながら取り組む体制を整え、活動に一層力を入れています。

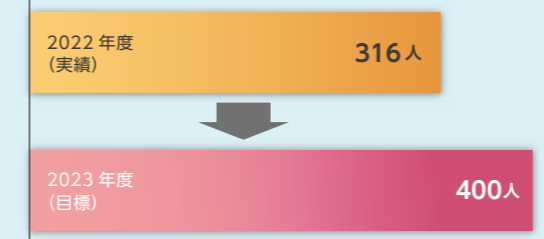


多様性を尊重した人材の採用・登用・活躍 / 成長の支援

女性活躍の推進

事業業態・事業内容から、決して女性が多くはない会社ですが、一人でも多くの女性に働いてもらい、女性社員がいきいきとやりがいと誇りを持って働き続けられるように、女性活躍の推進に力を入れて取り組んでいます。特に、女性役職者数については、2023年度400人を目標としており、職場でのOJT(業務経験を通じた能力開発)に加え、各種研修を実施しています。

女性役職者数の実績と目標



シスター制度(女性社員間によるメンター制度)

同性の先輩・上級者が他部門の女性社員に対して、面談を通じて女性社員自身の成長を支援する制度で、仕事の進め方や今後のキャリア形成、ワークとライフの両立などについて相談します。女性同士でコミュニティをつくり、つながりを持つことが、心強さや刺激となり、仕事への意欲向上に結び付けています。

フェムテック・メイルテックの取り組み

社員一人ひとりの健康リテラシーを高める取り組みとして、各分野の著名人によるオンラインセミナーの定期開催、様々な医療クーポン(有料・無料あり)の提供を行い、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。

重点キャリア開発対象者の計画的な育成

上位等級への挑戦意欲の強い女性に対して、所属長との面談の上、重点的にキャリアを開発する対象者として登録を行い、個別の育成計画に基づきながら全社横断的に重点的な育成を行うことで女性管理職の育成につなげています。

育児休職からの復職者と上司のペアワーク研修

育児休職からの復職者とその上司がお互いの状況・価値観などをしっかり共有し、キャリアプランについて話し合う場を持つことで、両者間および職場での最適な協力方法を見出す研修です。復職後も働きやすい環境を整えることで、仕事と育児の両立を実現し、いきいきと活躍してもらうことを目的としています。

高齢者雇用の推進

「選択制定年延長制度」に加え今後の高齢化社会を見据え、最長75歳まで活躍できる仕組みを整備しています。また、退職した先輩社員を招いて、さまざまな教育・研修を実施し、先輩社員の持つノウハウや知識の伝承に積極的に取り組んでいます。

介護支援の取り組み

介護を必要とする家族や親族をもつ従業員への支援のため、24時間365日対応の介護相談窓口の設置や、介護ホームページ、介護ハンドブックによる情報提供、介護セミナーや上司向けの介護eラーニングなどの教育といった、さまざまな取組みを実施しております。また、介護に関する金銭的支援として、会社から介護サービスに掛かる自己負担額への費用支援を行う「介護見舞金制度」なども設置しています。

障がい者雇用の推進

富士電機として障がい者の雇用や職域拡大に積極的に取り組んでいます。多くの社員がさまざまな職種で活躍しています。

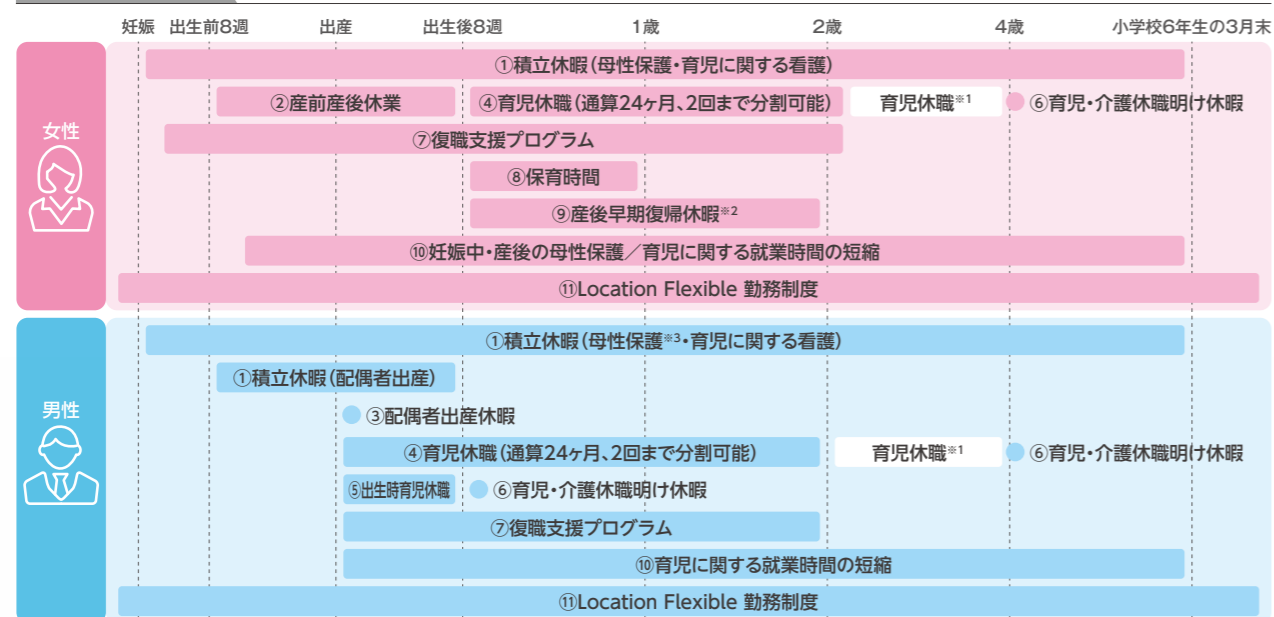
仕事と育児の両立支援

法定以上の育児休業制度や時間短縮勤務制度、年次有給休暇の「時間単位取得制度」など、仕事と育児との両立を支援する各種制度を整備しています。男性の育児参画への取り組みも強化しており、配偶者出産時の休暇制度の拡充や育児に関連する制度についての情報発信、職場にポスターを掲示するなど、啓蒙活動を進めています。



- ▶ 制度利用者数（2022年度）：育児休業取得者数（131名）、配偶者出産休暇取得者（205名）、就業時間短縮制度利用者（223名）
- ▶ 育児休業からの復職率・定着率（2022年度）：100%

育児支援制度



【その他支援制度】⑫年次有給休暇の時間単位取得、⑬家族看護休暇、⑭深夜業の免除、⑮時間外労働の免除・制限、⑯再雇用希望登録制度

※1 保育所入所を希望しているが未入所である等、要件を満たす場合。 ※2 満1歳に到達する前に復職した場合。 ※3 妊娠中・産後1年未満の配偶者の看護。

外部評価

受賞名	受賞年	概要
厚生労働省 えるぼし（最高ランク）	2018年	女性の活躍に関する取り組みの実施状況が優良な企業として認定（5つの基準項目全てを満たし、最高段階である3段階目として認定）
経済産業省・東京証券取引所 準なでしこ銘柄	2022年	女性のキャリア促進や仕事と家庭の両立サポートなど、女性活躍推進に優れた企業として評価（2015年度～2018年度にかけて選定されたなでしこ、準なでしこ銘柄を含め、5度目の選定）
厚生労働省 くるみん	2013年	ワークライフバランスの推進を目指し、次世代育成支援対策推進法に基づく厚生労働大臣認定マーク「くるみん」を取得。
経済産業省 ダイバーシティ経営企業100選	2013年	多様な人材の能力を活かして、イノベーションの創出、生産性向上など、ダイバーシティ推進を経営成果に結び付けている企業として評価
厚生労働省 トモニン	2019年	仕事と介護を両立できる職場環境の整備促進に取り組む企業として「トモニン」を取得。
Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021	2021年	当社従業員が「Forbes JAPAN WOMEN AWARD 2021」の個人部門賞（イニシアティブ賞）を受賞しました。同賞は、経済紙Forbes Japanが、真の女性活躍推進を掲げ企業や個人を表彰するものです。当社社員は女性エンジニアのロールモデルにふさわしい活躍が評価され、310社の応募者の中から選出されました。



富士電機株式会社

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

人事・総務室 採用センター

E-mail : saiyo@fujielectric.com

TEL : ☎ 0120-004-633 / 03-5435-7224

